



尚徳福祉会 日野保育園 2024年 2月

まだまだ寒い日が続きますが、子どもたちは毎日元気いっぱいです。西公園の梅の花も咲き始め、春がそこまで来たように感じられます。今年度も残すところ2か月となりました。一人一人の自己主張がしっかりとしてきたり、スプーンの使い方やお話が上手になったりと成長を感じる毎日です！

様々な感染症の流行が続いております。引き続き、子どもたちの体調管理に気をつけ、元気に過ごせるように見守っていきたいと思います。



♪子どもたちの様子♪

友達が大好きな子どもたちは、登園してきた子に駆け寄り、笑顔で迎え入れ、『はやくあそぼう』と遊びに誘っています。泣いている子の頭を撫でたり、玩具を貸してあげたり、優しい気持ちが溢れています。友達との関わりが増える中で個性も見られ、一人一人のお気に入りの遊びもあります。一人でじっくり遊びたい時とみんなで一緒に遊びたい時を見極め、子どもたちが安心して満足感を感じながら過ごせるようにしていきたいと思います。生活の中では、身の回りのことを自分でやってみようという気持ちが少しずつみられるようになってきています。挑戦したい気持ちを尊重し、できるようになった喜びを感じられるように援助していきます。



♪凧揚げ・豆まき♪

ビニール袋にシールを貼り、オリジナルの凧を作って西公園で凧揚げをして遊びました。手を一生懸命上にかけて走る子や、紐から手を離して風に飛ばされるハプニングもありましたが、楽しいお散歩となりました。節分に向けて紙皿に絵の具やシールを貼ったお面作りにも挑戦しました。絵の具を紙皿に勢いよく塗ったり、福笑いの様に顔のパーツを自分で貼ったりして、愛嬌のあるかわいい赤鬼・青鬼さんたちができました。豆まき当日は鬼の面とシールで飾った三方を身に着けて、鬼のタペストリーに向かって「おにはそと〜、ふくはうち」と豆まきを楽しみ、行事を楽しんだ子どもたちでした。



冬のスキンケア

肌を保護する機能が未発達な子どもは、空気が乾燥すると肌のバリアがどんどん失われ、肌荒れを起こしやすくなります。外から帰って手を洗ったら、保湿クリームなどでケアして、デリケートな肌を守りましょう。



おしらせ

冬の感染症がまだまだ流行る時期です。少しでもいつもと違う様子が見られたら、早めの受診をお願いします。

